

Mランドニュース Vol.130

丹波ささ山校 平成30年1月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

西欧で貴族たる者の例えに
「人の汚した物をサッと自ら片付ける
ことのできる人」とある。

株式会社 新宮運送
代表 木南 一志氏発行
「出会い」12月号文中より

「魅力と三力」



取締役社長 井階 正義

新しい年を迎え、皆様おめでとございます。

旧年中は、多くの方にご指導、ご声援を賜り、又、Mランド丹波ささ山校へ足をお運びいただき、誠にありがとうございました。

今、(我々がMランドになつてから一方的に思わせていただいている四方人企業)、兵庫県篠山市は輝いていますが、「国の重要伝統的建造物保存地区」、「日本遺産」に認定され、「ユネスコ創造都市」への加盟と、地域の歴史的魅力や特色、文化の活性化を図っています。

元々モダンな意識と古い文化が混在し、そのコントラストが何とも言えない情緒を醸し出している街であり、その周りを緑鮮やかな山々に囲まれた自然豊かな地域

です。そして、歴史的建造物や歴史的景観も多く残っている、そんな「魅力」あふれる街に共生させていただいているのが、Mランド丹波ささ山校です。

私は、この丹波ささ山校で、自身が互いに夢や未来、希望を語り、努力し合い、何かに挑戦しようとする社員が育つことで、丹波ささ山校の「魅力」も最大発揮できると考えます。

その為にもパッション(情熱)、センス(感性)、ホスピタリティ(思いやり)と、最高の笑顔あふれる方々が、丹波ささ山校へ入社したいと思っただけ「魅力」ある会社を創ってまいります。

「あいさつ」、「掃除」、「はがき」の三種の神器を強みと見定め、会社や街を徹底的に掃除し、お茶を通じ、ありがとうカードと挨拶が飛び交う会社に磨き上げる。そうすれば良い会社、強い会社は育ちます。良い会社、強い会社に成長していければ、雇用を守り、社会貢献、地域貢献を行なうことができます。

一人ひとりが、誰も見ていなくても、無意識でも、普

通に振る舞っていても、「腰骨を立てる」、「履物を揃える」、「挨拶をする」、そして「ゴミを拾う」、「自然な笑顔」、「丁寧なお辞儀」、「ちよっとした仕草」、「気配り」そんなことが自然にできる人を丹波ささ山校は育てていきたいと考えます。

「なぜ」と思うことに素直に向き合い、受け取り、問う。そして不満を言わず、自分の行動を変える。それが将来このMランド丹波ささ山校を、この篠山を、この国を背負い、真のリーダーとなってくれることと信じています。大切なことは、「会社の存在理由」と「魅力」を自らへ問いつける姿勢です。

Mランド丹波ささ山校のバックボーンは、「若者への思い」と、この「丹波篠山への思い」です。本年も皆様の益々のご清栄と、弊社へのご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。



社員一丸となって

ようこそ

所長 永井 興喜

十二月九日(土)、卒業生のご縁で「農学」を専攻されている七名の学生さんが、Mランドのホームに一夜滞在されました。

篠山の特産についても研究されており、若者がどのようなお考えで活動しておられるのかをお聞きしたく、「農業座談会」をさせていただきました。

話題は篠山の気候や地質などにもおよび、目を輝かせながらお話しされる皆さんの姿は、農業に携わる者として刺激を受けました。



専門知識は永井所長も刺激に

後日、学生さんからメールをいただきました。

・経験者とお話しして、試行錯誤をしながら、作物を育てる楽しさを感じました。
「座談会」で他の人のお話し

を聞き、新しい気付きを得ることができました。

農業に限らず、このような若者の取り組みを、Mランドは応援していきたいと思っています。

切磋琢磨

十二月二十二日(金)、五つの班で取り組んでいる、「その力のリーダー」研修会を行ないました。

昨年十月に各班リーダーが代わり、新リーダーの感性のもと、毎朝十分の会社磨きを続けています。

この日も一か月の進捗状況と予定を発表し、お互いに意見交換をしました。

目的は単に掃除をするのではなく、「社員間のコミュニケーション」や、「気付きの感性」などを高めることにあります。

毎朝、同じ目標に対し、上司や部下、また部署を超えて会社磨きすることは、仕事とは別ではないようです。



各班、取り組み発表です

ブレイブ感謝の集い

十二月三日(日)大阪で、Mランドも応援している、トリアスロン チームブレイブ「感謝の集い」にお招きいただきました。

会場は小学生から六十歳代までのチーム生をはじめ、八尾彰一監督の指導理念に共感し支援されている個人や企業の方々を合わせ、八十名以上の熱気であふれていました。

はじめに八尾監督より、チームブレイブの生い立ちとこの一年の活動を映像で報告されました。
いろいろな場面が紹介されるたびに歓声と笑いが湧きあがり、チーム全員が気持ちで結ばれているようすがよくわかります。

そんな中、ある大会でのこと。子どもたちが自主的に、競技終了後の後片付けをしている姿をご覧になった八尾監督、私なら「躰のできている子ども」としか感じませんが、監督曰く、「これや！」と自主性を育てるため、子どもたちが企画から運営までするトリアスロン大会を思

いつかれ、今年の開催に向けて計画されています。



自分の体験を堂々と発表されます

「失敗してもいい、そこから学んでくれたら」。

単に記録だけでなく、トリアスロンというステージで子どもたちの成長をも見据えた八尾監督の想いをまた拝見しました。

毎年この時期に行われる「感謝の集い」。参加者が年々増えているとのことでした。

これからも！

十二月七日(木)、市内東岡屋自治区白寿会の皆さまを対象に、「安全教育講習会」を開催させていただきました。

テーマは「認知症の予防と自動車運転について」で、会場の自治会館には、学び取ろうとする二十九名の会員様の意欲が感じられました。

最初に社会的問題となっている「認知症」と「運転」の関わりについて、現状を踏まえてお話ししたあと、予告なしの「認知機能検査」で、十問のペーパーテストをしていただきました。



終始、学ぶ姿勢の皆さんでした

思いがけずテストとなり、困惑気味の皆さんでしたが、ほとんどの方が「満点」で、一様に安堵されていました。次に、頭と体がうまく連動しているかを、「認知症予防体操」によってご理解していただきました。



「さあ、上手いくか！」

まず、全員で基本動作を

ゆっくり覚えていただきます。最初は何なくできる皆さんも、ペースを少しづつ上げるとともに、一人また一人としてこれなくなります。

毎日の生活でこのような運動も活用し、これから豊富な人生を楽しんでいたけるようにと、お話しさせていただきました。

共育チーム 南勝 宏幸

東雲高校そうじの会

十二月二十一日(木)、県立篠山東雲高等学校の皆さまと、今年も街頭清掃活動を行なってきました。

今年、篠山市保健衛生推進協議会主催で、兵庫・大阪両府県にまたがる、国道一七三号天王峠のごみ拾いを行ないました。

今回の掃除場所は、阪神間から日本海方面へとつながる交通量の多い道路ですが、民家がなく人目がないことから、ポイ捨てごみが散乱していました。

十一月の台風被害で、一部土砂崩れにより、今もなお通行止めになっており、これを機に五つのエリアに分けて実施されました。

両府県と市の自治体、ライオンズクラブなど、九団体総勢百十五名の参加者が手足も凍えるような寒さの中、午前九時三十分の一斉に始まりました。

しばらくして皆さんのようすを見ると、数名の生徒さんたちが、ぬかるんだ斜面を躊躇なく駆け上がり、ごみを拾われていました。

それは自らの意思で行動されており、その前向きなお姿に胸が熱くなり、ごみを拾うのも忘れ、「感謝」のことばで見入っていました。



ゴミを探して奥へ奥へと

参加者皆さんの力で、一時間半の時間で多くのごみが拾われ、道路が美しくなったのはもちろん、皆さんの笑顔も晴れやかであったのが印象的でした。

私たちが初めて貴校と街頭清掃したとき、一年生だった生徒さんが今や三年生。

この取り組みが校風となり、後輩へと受け継がれていくことを心より願っております。

愛チーム 前川 昂希

『掃除に学ぶ会』のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

1/14(日) 八上小学校 西トイレ (AM8:00~9:00)

篠山中学校トイレ掃除に学ぶ会は次回4月に実施予定です。

※参加していただける方は井本までご連絡ください。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

「Mランドニュース」の編集を始めてからまる五年がたちました。

一所懸命、確認しているものの、発送のあと誤字に気付いて肝を冷やすことも度々ですが、温かく見守ってくださいる皆さまのおかげで、こころ折れずに編集させていただきます。

皆さまに「元氣」を与えられるニュース作りをしてまいりますので、今年も何卒宜しくお願い申し上げます。

(徹)